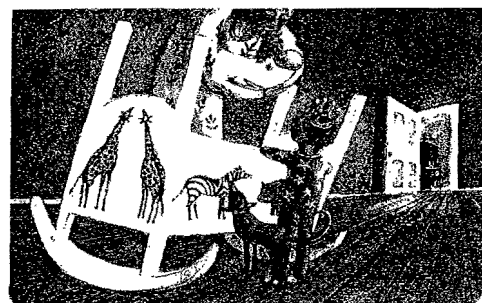


10月の

園便り

「あか
ちゃんの
ゆりかご」



23年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

なかよしカーニバルでは、お母さん・お父さんと子どもたちの温かな姿が見られましたね。お母さんお父さんと手をつないで一緒に走る姿・そして大きく広げたお母さんお父さんの腕の中へ体当たりするかのように飛び込んでいく子どもたちの姿には、お母さんやお父さんに対する大きな信頼が見られました。必ず受け止めてもらえるという思いで、全身でぶつかっていく子どもたちでした。・・・腕の中にすっぽりと抱きとめていらした保護者の皆様にとっては、走りこんでくる子どもたちが言葉に表せないほどいとおしく思われたことと思います。「楽しいね、お母さん!」「楽しいね、お父さん!」という声が聞こえてくるかのようにでした。親子一緒に運動したら楽しさは一層大きくなりますね。「楽しかったね～」とつないでいる手が気持ちよく前後に揺れて、楽しかったねという思いが伝わってくる、あるいはアイコンタクトで「面白かったね～」という思い（非言語的コミュニケーション）を共有する・・・、こういう体験を積み重ねることは親子の深い信頼関係の基礎となりますね。

面白かった、楽しかったという体験は、このような特別な時だけではなく、日常生活における小さな出来事・・・絵本を読んでもらって、余韻を楽しんで「は～」と息をつく時、近くの公園で一緒に遊んで弾んだ気分を味わう時、一緒に砂遊びをしてたくさんお団子ができてにっこり顔を見合わせる時、長い滑り台を一緒に滑って、気持ちいい～と喜びあう時、こういう“時”をどれだけたくさん経験できたか、この経験が、大きくなっても自分自身を支えてくれるということは、以前からお伝えしていますが、一緒に喜びを味わってくださるお母さんお父さんご家族の皆様の存在が重要なのです。大きくなって困ったことや難しいことに出会った時に、お母さんやお父さんに相談することができいい親子関係になるためにも、幼児期から、親子で一緒に喜び、一緒に楽しむ経験を積み重ねていくことが大切ですね。きっと大きくなっても何でも話せる、たとえマイナスの出来事であっても話すことができる親子関係になることでしょね、

さて、今月は「のぼら際」があります。お子さんの作品をご覧になって、ここはこんなふうに描いたほうがいいのかなどと指摘するのではなく、かといって上手だねとほめるのではなく、その作品に表れている子どもの思いを受け止めた“真の言葉”を言ってあげてくださいね。子どもの絵は、子どもの心からの手紙なのですから・・・

親子で制作を楽しむコーナーもごさいます。子どもたちはお母さんお父さんの創作する姿をモデルとして自分の内面に取り込んでいきます。良いモデルとして、子どもたちと一緒に楽しんでいただけたら幸いです。

10月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	土	×	11:30	自由登園日	(24年度入園申し込み開始)
2	日	/	/		
3	月	○	2:00		
4	火	○	2:00		
5	水	弁当	2:00	どんぐり拾いに出かけます。	お弁当のご用意をお願いいたします。
6	木	○	2:00		
7	金	○	2:00		
8	土	/	/		
9	日	/	/		
10	月	/	/	体育の日	
11	火	○	2:00		
12	水	○	2:00	サツマイモ掘りに出かけます。	
13	木	○	2:00		
14	金	○	2:00		
15	土	/	/	子育て講座のため自由登園はお休みです。	
16	日	/	/		
17	月	○	2:00		
18	火	○	2:00		
19	水	○	2:00		
20	木	○	2:00		
21	金	○	2:00		
22	土	×	11:30	自由登園日	
23	日	◎		のぼら祭です。詳細は後日のお便りをご覧ください。	
24	月	/	/	振り替え休日です。星の子は行います。ご利用ください。	
25	火	○	2:00		
26	水	×	11:30	誕生会です。10月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう	
27	木	○	2:00		
28	金	○	3:00		
29	土	/	/	第4土曜振替休日	
30	日	/	/		
31	月	○	2:00		